

自宅宛に發送せり。此の第二次大誠首の犠牲者数は造船所造機部百三名内燃機二十九名にして、解雇の理由とする處は前回同様「職工規則違反」にありたり。其の氏名左の如し。

▲造船所造機部 浦田辰之助、吉本勇三、武田周吉、中島静天、淺田勇、立石佐市郎、寺阪薫、岩原駒之助、西岡重定、樋口又作、土井音司、原田薫治、仲岡熊吉、松尾常藏、富永嘉太郎、岡田實造、武田音市、森岡卯吉、佐々木丈助、永野永作、吉川種次郎、谷迫吉之助、杉村善三、佐竹敏之助、荒田佐一、山崎和松、吉原田清四、藤井隆三、後藤甚三郎、北村勘次郎、篠塚駒吉、仙田誠一、徳永政一、森田誠一、立花秋太郎、藤本作太郎、宮本音治、廣田正雄、春田恒一、原瀬榮松、中村義兼、村岡廣定、池田卯之吉、山下榮吉、落合嘉平、市原彦十郎、岡部龜一、佐藤甚一、森脇甚一、菅林太郎、大治野春太郎、林喜十郎、竹内辰藏、表貝治三郎、石部嘉一郎、渡邊勇、金子勘一、岩松房一、鮫島清一、堀卯太郎、大家照男、山地鶴吉、藤原信治、小畑辰雄、矢芝覺殿、村上勝之、笹倉長二郎、三宅正雄、服部一夫、坂口一夫、小松尾鹿造、長谷川喜藏、中筋與八、水守市松、鈴木源太郎、北岡開吉、池内正夫、宇野角太郎、家木又治、千羽龜松、魚村音一、九澤九山、清水友市、平岡善市、高山重藏、渡邊友竹、片岡勝、木村忠雄、武呂福太郎

▲内燃機 沖本添市、高橋伴吾、五藤騰、島田宇左衛門、以下二十五名

#### 四、勞資の奇襲逆襲

職工軟化の趨勢は川崎造船所に於ても全く三菱と何等異なるなく、長期に亘る休業は職工家庭の生計を疲弊せしめし事甚大なりき。職工側に對して行はれし會社の就業勧誘亦三菱と軌を一にし、會社側が直接積極的に切崩しを策せざりし迄も、職工中に反動的運動の行はるゝに至りしは長期に亘る持久的争議に附隨して起る必然的現象なりき。川崎造船所の休業期日は二十三日までなりしが、二十四日は日曜にして二十五日より開場すべきや否やは問題と成りたるが、既に職工側の形勢に見て相當成算を得し會社側は斷然開場する事に決し二十四日本社前を始め兵庫、葎合の各分工場前に從來の休業掲示を撤去し左の如き始業の通告を掲ぐるに至れり。

#### 掲 示

本	社	工	場	一	般
兵	庫	工	場	一	般
葎	合	工	場	一	般

明二十五日より始業す

但し工場の秩序恢復せざる時は更に休業すべし